



広報 **あくな**

= 新年号 =

No. 324

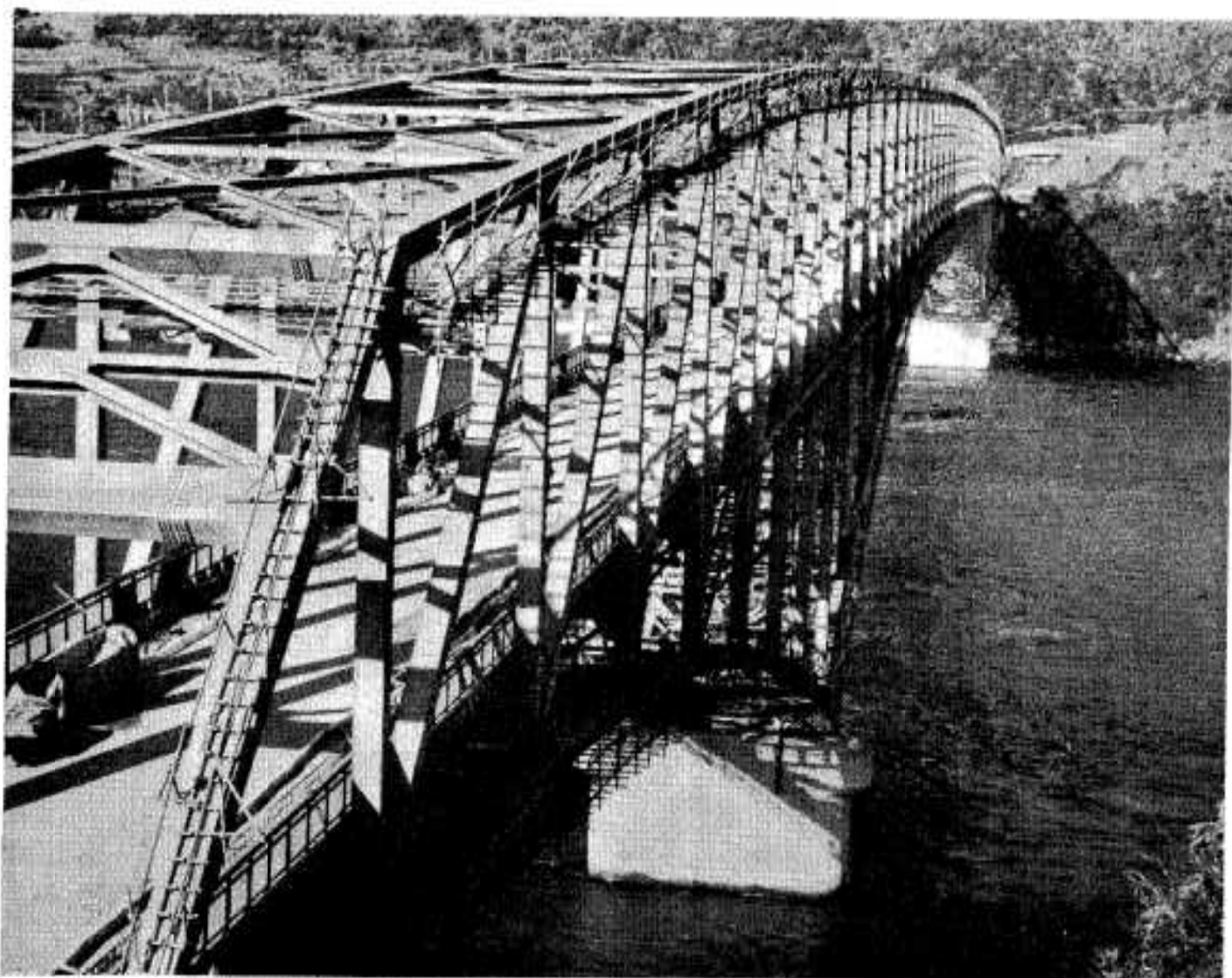
昭和49年1月10日

編集 阿久根市

発行 市長公室

毎月一回 10日発行 1部10円

昭和43年8月20日 第3種郵便物認可



(黒之瀬戸大橋 4月開通を前に工事も急ピッチ、長さ502m、シルバークレーにはえる、連続トラス式では世界一)

謹んで新春の

お喜びを申し上げます

阿久根・東西長島と一体となった総合開発

黒之瀬戸大橋開通にかける期待

新春対談



- ◇ 新年おめでとうございます。このすがすがしい朝空に、改めて昭和四十九年の新たな希望と決意を誓われたことと、心からお喜び申し上げます。
- ◇ 全市民のたゆまぬ努力によって各分野にわたり着実に推進し、市勢は順調な発展を続けてきました。しかし、本市をめぐる内外の諸情勢はわが国経済社会の高密度化高度成長化によって激しく変化しつつあります。
- ◇ こうしたなかで、積年の夢であり願望であった「黒之瀬戸大橋」もいよいよ四月開通の運びとなります。そこで、阿久根市、長島町、東町の市長、町長に新年の初頭にあたり開通後の総合的な地域開発、四十九年にかかる抱負、展望などを語っていただきました。

司会 ご承知のとおりわたたくしたちが長年願望していた夢のかけ橋（黒之瀬戸大橋）も、四月開通することになるわけですが、地域住民がこの大橋にかける期待はたいへん大きいものがあると思えます。

阿久根市と東西長島と一体となったこの時点で、四十九年にかかる期待と抱負を一言ずつ伺いたいと思えます。

阿久根市長 北薩十万人住民の悲願であり積年の夢でありました。「黒之瀬戸大橋」がついに現実のものとなり、本年四月開通の運びとなることを、地域住民のかたがたとともに喜んでるところ

です。

思いおこしますと、わたたくしが市政を担当してから早や十四年の歳月が流れました。

わたたくしは就任早々黒之瀬戸に橋をとうこととさげび続け、さいしよは、夢のよう左話しをと地域のかたがたは、耳もかしてくれないのが実情でした。

しかし、努力が実りまして、昭和三十八年十月、阿久根市、長島町、東町の架橋期成同盟会ができて以来実に十年の歳月が流れ、その間地元住民のご支援はもとより、県をはじめ国、道路公団への陳情関係機関などの現地調査も幾度か昭和四十三年七月には、時の総

対談者

阿久根市長	丹宗	忠
東町長	山下	茂四郎
長島町長	福永	慶彦
阿久根市役所 市長公室長	花木	実義



左から 長島町長・阿久根市長・東町長

理大臣、佐藤栄作氏の来阿のおり
 直接申しあげたこと、それこそ地
 域住民と関係者一同の熱意の積み
 重ねによりついに、この四月開通
 の運びとなることは、地域住民の
 総意のたまものと存じます。

ざし交通、文化、経済の浮揚に全
 力を挙げ、相携え努力してまいり
 たいと思っております。

司会 いま阿久根市長から橋を
 かけるまでの苦勞話しや総合的な
 展望などがあったわけですが、と
 くに離島であった東西長島におい
 ては、陸続きになるといふことで
 期待も大きいと思われませんが。

産業経済発展に期待

東町長 東西長島ともに従来、
 産業経済の発展と後進性から脱却
 できなかったという阻害要因は、
 この黒之瀬戸であった。

その黒之瀬戸に今回橋をかけて
 いただいた、九州本土と観光開発
 なども含めまして、産業経済が飛
 躍的に発展するであろうと期待し
 ているわけでございます。

ところがわたくしはその町政推
 進の基本方針として、産業基地を
 旗印にして、わたくしどもの産業
 振興を申しあげますと、第一次産
 業が七一・三割であり、一次産業
 の振興発展をはかるために、現在
 必然的に発展するよう基盤整備を
 すすめているわけでございます。

それと架橋が実現することによ
 って流通圏が改善され、従来市場
 開拓あるいは販路が比較的困難で
 あったものが緩和されてくる。

このようなことで第一次産業の
 振興発展というものを期待してい
 るわけでございます。

つぎに問題になっているのが、
 第三次産業といわれている、観光
 事業であります。町民あるいは
 町外の多数のかたも橋がかかるこ
 とによって、観光というものは発
 展するであろうということを感じ
 ているわけですが、わたくしの
 ところは自然の魅力、いわゆる資
 源に恵まれていないということな
 りで、観光事業の発展は難しい
 のであります。

もちろん規模の小さなものでは



取り付け道路も完備

観光客の多くを望めないで、そ
 れかといって大きな事業をやるこ
 とになりますと、膨大な資金がい
 る。膨大な資金を入れる場合はも
 ちろん、地方公共団体ではできな
 いので、町外の大資本をもってこ
 るということになります。大資
 本を入れた事業はちよつとなりた
 ないのではないかと、しかしそれ
 でも観光開発の一番基礎的な事業
 をすすめているわけでありまして
 道路の整備あるいは天草とフェリ
 ーで結ぶなど観光客のルート形成
 が一番大事だと思っております。

もう一つ観光事業は広域的にや
 らなくては行けない、こういっ
 たことは東西長島はもちろん、阿久
 根、出水、天草などが一体となっ
 た広域的な観光事業もやっ
 たいと思っております。

司会 ただいま東町長の方から
 産業の基盤整備などを行ない今後

隣りにも声かけあってよい防火

- ※ 老人・病人・幼児の就寝場所の再点検
- ※ 消火器具の備えつけ
- ※ 暖房器具の正しいつかいかた

火災救急は局番なしの
 119番へ

振興をはかっていきたい、とおっしゃったわけですが、つぎに長島町長にお願いします。

長島町長 日本で経済大国として世界の中で非常に発展しているのがあるが、こうして黒之瀬戸大橋ができるということは、一般的に考えられることは時代がそうさせたんだ、日本が経済的に発展したんだから、当然この橋もかかったんだと考えた方が、橋がかかった段階においても、今後実際に恩恵を受ける長島町民の間にも、将来非常に大きくなってくるのじゃないか、また、この考え方を原点に橋をかけるんだという最初運動をはじめた原点到ちかえった精神的な基調にたつて、そして各市町村に計画されているすべての計画にたち向って実施していく姿勢が一番必要だと思います。

この橋をかけるにあたってはみんな一緒に努力されましたけれども、やはり金丸県政の中であるいは地元出身の国会議員のかた、本省におけるかたがたの理解があつて実現したと考えます。

したがって、最初申しあげましたように、感謝の念にたつて、すなおな謙虚な心でお返しに、いろいろな事業に取り組みでいくべきじゃないか、そしてはじめて立派な仕事もできるし、そして発展もするんだと考えております。

わたくしは昭和三十八年に町長に就任いたしました、三十九年から長島町独自の十年計画を立てており、その計画はすべて黒之瀬戸に橋がかかった場合にはどうあ

るべきかと考えながら計画をたてています。

現在基盤整備あるいは道路整備などを積極的に行き進んでいきたい。

また、福祉行政もいわれますが福祉行政という考え方は、反面道路をつくることも福祉行政である

将来二十万の中核都市づくり

広域的な行政をさらに推進

と思います。

けれども一般的に考えますとそうじゃないような受けとめかたをする人が多いので、一応橋がかかったらどうするかということをやりとけてから、福祉行政につなげた仕事をやっていきたい。

これはたくさんの方の恩恵によくす

というのがあるなら、住民が安らかにこの世を去っていかれるということが政治の極だと思っております。

しかしそうばかりもいかない、年々過疎の溝がはげしくなっている。わたくしの市でも相当数にのぼっています。留守をあずかる奥さんや子どもたちの姿をみるときに、身につまされる思いがいたします。

このことは当地ばかりでなく、東西長島いや鹿児島県全体の問題だと思っております。

県も第二次県政発展計画のもとに、工業の地方分散が盛んになり当地出水郡も高尾野町に、工場団地づくりがすすめられているようですが、わたくしはそれはそれとして、わたくし独自のもの、つまり大型工場をもって来て過疎に歯止めをし、家族が一緒に楽しく暮らせる郷土づくりをやっていきたく

わたくしはこれまで政治なんて考えたことはなかった。ただ政治



阿久根市長



4月開通を待つ大橋

るわけでありまして、そうして一つ一つのことを将来の展望に立つて、橋をかけるまでのいろんな人たちに對する感謝の念、さらにどうしても橋をかけてもらうんだというあの真摯な気持ち、そうしたものを今後においてもやっていきたく

就業できる工場をということ、日本の大手企業の主要なかたがたと話しをすすめていっています。労働力は旧出水郡をはじめ、大口、川内など北部の鹿児島県からも集め、就業二十万の中核都市づくりもすすめていきたいと思います。

また、近い将来必ずこのようになる日がくるものと確信し、今後わたくしたちの手で努力していかなくてはならないと思っております。

黒之瀬戸大橋もこれで一段落、長崎―阿久根間のカーフェリーの問題も具体化しつつあり、それから中京との貿易など昨年に引き続き努力し、近い将来必ずこれらが実現するよう期待しております。やはり阿久根のことばかり考えないで広域的な行政をさらに推進して、郷土発展にまい進していく覚悟です。

すべての人が 共存できる発展を

司会 阿久根市長から過疎の中での東西長島を含めた、過疎解決ということ、大型工場を持って来たいということ、

ひととおり総合的なものは済んだわけですが、橋がかかるということ、島が陸続きになり、経済文化が全体的に本土の経済との渦中に巻き込まれるということ、この点大きく変わってくるんじゃないかと思うわけです。それらの問題にどのように対処していけるのか、はじめに長島町長からお願ひします。



長島町長

長島町長 長島の場合は橋がか

ハシカの病状は、はじめはカゼの病状とよく似ています。カゼだと思っても、近所にはしかの子どもがいたら、いもおう専門医に相談してみましよう。潜伏期が十〜十四日、そのころ一度熱がさがりまたすぐあがります。顔や耳のうしろに発疹が出るのがハシカの特徴で、才肺炎を

幼児のハシカ

と結核にかかりやすく

併発することがありますから早めに治療しましょう。ハシカはだれでも一度はかかる病気ですが、回復期をたいせつにしない

なりす。手洗消毒をあらかじめ受けておくと症状が軽くなります。

かつては島は島なんです。もう一つは長島における「良き」というものを絶対に生かしてゆくべきだと思ひます。

それから長島における産業の柱というものは、いわゆるその時によって変わっていくものはいけません。

とくに、農業の問題は農政が確立しなければいけません。長島における農業の柱はこうあるべきだと、さらに観光問題にしても、いろんな事業がありますけれども、やはり長島を生かした、農業観光とか、あるいは漁業と結びつけた観光でなくてはいいけない。

そうすることによってすべての人が共存できるような発展を上げるとは思ひます。

第一次構造改善事業で大型自立経営農家を育ててきたけれども、あとに残されている小規模の農家これもやはり生かしていかねばならないということで、第二次構造改善と自然休養村の指定によっていまの仕事をやりの指定による



瀬之浦にできたハウス団地

人間づくりがかぎ

住民の資質向上に努力

やはり、外のところから大きな業者が入ってきて、いろんな問題が出てくると思ひます。それで出てきても、町民がそれに慣れていくならば、また、そういった人へのつきかきながら生きていくというか、長島がよくなるようにしてしむけるような知恵も出てくるんじゃないか、このようなことを考えています。

司会 本土との中でいろいろ巻き込まれるということ、影響もあると思ひますが、東町長の具体的にはいろいろ基盤整備とおっしゃったわけですが、その関係からひとつ、東町長 発展の基盤整備ということですが、その中でとくにわたしが力を入れているのは、事業は人なりというところ、人づくりというの、人間づくり人づくりというの、人をつたと思ひます。

町民の資質の向上に努力しているわけ、

犬の放し飼いは できません

●放し飼いの犬は捕獲されます
●捕獲された飼犬を引き取るために必要な経費を負担しなければなりません。
●放し飼いの犬が人に危害をあたえたときは必ず罰則が適用されます。(二万円以下の罰金または拘束もしくは科料に処せられます)



特性を生かした地場産業の育成

地域社会が一体となった生涯教育

阿久根市長 昭和四十年代前半におけるわが国の経済は、昭和三十年代をも上回る高度成長を遂げています。それにもなつて国民の生活水準も著しく向上してきましたね。しかし、その反面、人口や産業の大都市圏への集中による過疎、過密問題や、環境破壊の増大による生活環境など、ますます悪化してきています。

また、中近東戦争に起因する産油国の原油供給の削減は予想以上に大幅となり、石油危機という非常事態に陥り、国際的にも非常にきびしくなつてきています。このような本地区をとり巻く社

会情勢の中で、地域内では遠隔性を克服するため、大橋の完成、新港の整備など、交通基盤の整備をすすめ、産業基盤の確立がはかられつつあります。

また今後、全国の交通、通信のネットワークの形成がすすむにつれて、本地域の豊かな資源は、一段とその価値が高まってくると思えます。

阿久根市、東四長島は県内でも有数の長い海岸線と広大な好漁場を有している。これらの特性を生かして生産性の高い漁業を展開させねばならないと思えます。それには、とる漁業からつくる

漁業へ。これが新しい漁業のすすむべき道です。

近海には好漁場をつくる島も多く、冬も比較的高温に恵まれている。そこで、この特性を生かした温水性の栽培漁業の振興に力を入れていかなければいけない。

東町にもつてきた県の水産試験場もこれらがねらいなんです。この水産試験場を今後大いに活用し沿岸沖合漁業の振興をはかっている。沿岸沖合漁業は、漁況、漁況調査、新漁場の開発などを行なつて資源を開発していき、また、沖合

漁業を促進するため、漁船の大型化もすすめなくてはいいと思えます。

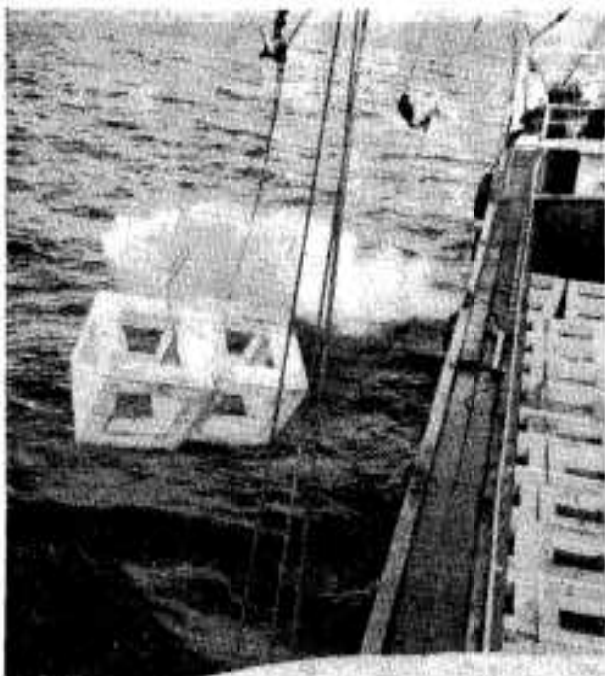
沿岸漁業は大型漁船、並型漁船、網敷きなど、企業の経営環境はきびしくなつてきています。こうしたなかで、商工業の発展をはかるためには、企業の体質改善、経営の近代化を推進することが必要です。

一方農林業では基盤整備をすすめながら、本地域の特性を生かして、暖地園芸とか畜産、果樹、タケノコなどを中心に伸ばしていきたい。そして産地から消費地まで一貫した流通体制を整えて、生産性の高い農業をすすめていかなければいけない。

それには、基幹農道の整備や農作業の機械化、経営規模の拡大を促すための市場整備、農地造成、改良、災害を防ぐための農地保全などを効果的にすすめていかなければならないと思えます。商工業においては、小企業が多

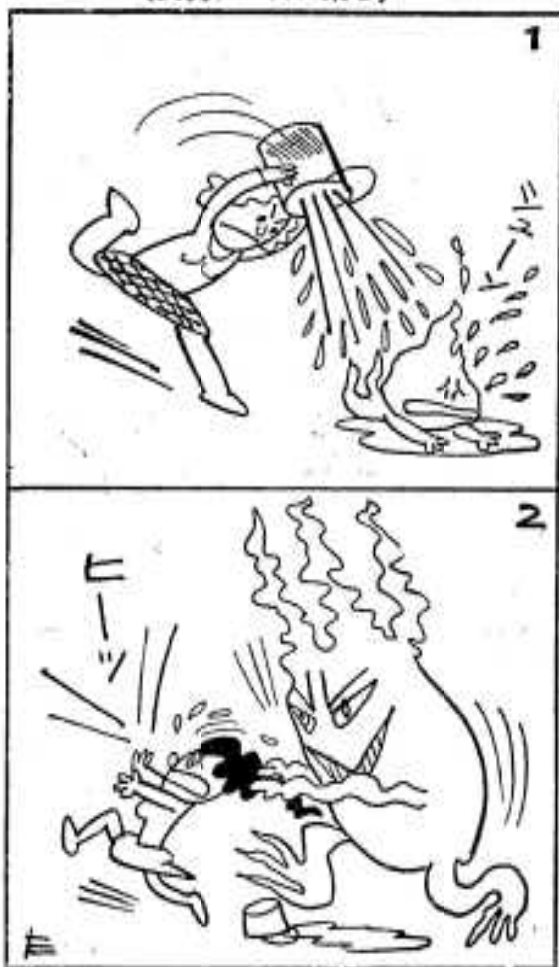
く生産性も低い。また、最近市場の変化、労働力不足、技術競争の激しさなど、企業の経営環境はきびしくなつてきています。こうしたなかで、商工業の発展をはかるためには、企業の体質改善、経営の近代化を推進することが必要です。

これら地域開発の礎になる人づくりも必要だと思えます。それには幼児から青少年、成人にいたる生涯教育を学校、家庭、地域社会が一体となつてすすめ、進歩する社会に即応した創造力、自主性を養うことが必要です。



漁獲投入もつくる漁業の一つ

あなたにもはじめは消せる
小さな火
(火災シーズン来る)



納得のいく住民行政を

広域的な観光ルートの設定も

長島町長 いま阿久根市長さんの方からいろいろ出たわけですが、わたくしもそのようなことを考えなくてはいけないと思っております。

新幹線の駅を出水にということ、主導権をにぎっているのは出水なんです。ところが新幹線の駅を出水にもってきた場合、その中核都市をつくるのか、二十万都市をつくるのか、大きっぱにアウトラインだけはいわれていますが、ところがどこのようにもっていか、具体的な話し合いは一回ももたれていない、さきほど東の町長さんもおっしゃったけれども、広域的にもって、いこうと、いって、もうした話し合いのないところ、にただもって来させなければ、やはり自己中心主義に考えるところに、広域的のそういう問題が、発展しない大きな原因だと思いま

すね。

たとえばそういったことになり、ますと、いろいろ義務づけをお互いに市町村民に納得いくようにや、ついでいかなるかは、いけません、ですが、これも先に東町長さんがおっしゃったように、観光の問題にしてもですね、これはいつも申しあげているとおり、出水にツル、阿久根に温泉と鹿、長島には何も、ない。そこにその新幹線が停車し、お客が乗る、ツルを見ても一時間、聞くらぬで時間をつぶしてしま、う。こんなことではいけないので、やはりそういうものを広域的にも、ついでいき、二時間コースとか三時間コース、あるいは四時間コースなど、長島を含めた観光ルートの設定なりを考えなくては、いけない、です。

おっしゃったように、工場誘致なども必要になってくると思、います。高尾野町にもできて、いるけど、一か所に集まっただけなんだから、あんなものでなく、地域が一緒にな、ってどこにどんなものなどを、各市町村の中で話し合いながら、あらゆるものをすすめて、いかなければ、橋がかかっても、割々ばらばらでは、いけないと思、います。

的に愛わってくる。まあ、大型化したものでなくては、いけない。阿久根、東西長島を考、えますと、まず考、えられ、ますのは、海洋性の観光というの、があげられると思、います。その点について阿久根市長の考、えは、

—おいしいスープの つくりかた—

安く手にはいる島がらで、おいしいスープをつくってみましょう。スープはにごっていても透明でも味にはあまり関係ありませんが、やはり見た目にはすきとおっていた方がおい、そうです。

まずガラをコトコト煮たて、スープをさします。そこで、網ジャクシの上に脱脂綿を敷いてこすようにすると、きれいなスープがとれ、ます。

即席ラーメンなども、このスープをつかうとグッとラーメンの味がひきたち、ます。

森林愛護ポスターを募集

昭和四十九年三月三十一日

●図柄ポスターの図柄は自由、とくに森林愛護、自然保護などの思想の高揚を強調したもの。

(例、緑の保護、手入、樹木の折損、はく皮の防止、山火事の手防、森林病虫害の防除などを対象)なお、図案中には一切文字を挿入しないこと。

●応募資格：一般(小、中、高校生児童生徒を除く)

●送付先：東京都千代田区平河町二丁目七番防会館、国土緑化推進委員会

●用紙：画用紙またはケント紙縦五十一センチ、横三十六センチ(B三を基準とし、縦書きとします)

●図案裏面に応募者の住所、氏名、年齢、性別、職業を明記する。

●発表および表彰

審査の結果は、入選、佳作を昭和四十八年三月末日までに、国土緑化推進委員会機関誌その他をもつて発表するほか、本人に通知します。

●入選：一席一人、賞金十万円
二席若干名、賞金一点につき二万円

●佳作：若干名、賞金一点につき五千円

●その他：①入選一席原画は、昭和四十九年度森林愛護運動用ポスターとして作成し、広く全国に配付する。②応募作品は一切返還しない。

泰平一家



大島の「鹿」も観光資源の一つ

消費生活シリーズ

台所用品に使はれるおもなプラスチック一覧表

樹脂名	見分け方・性質	耐熱温度	透明度	製品
ポリエチレン	水に軽く柔軟だが耐熱性に劣る耐薬品性はよい	70~110℃	半透明	バケツ、ゴミ箱
ポリプロピレン	ポリエチレンに似ているが耐熱性よくつやがある	120	透明	洗剤容器、食器
塩化ビニル樹脂	燃えにくい。水蒸気を通さない。熱に弱い軟質と硬質あり	60~70	透明	使いやす容器
スチロール樹脂	無色透明。たたくと金属性の音。傷つきやすい。アルコールに注意。油によりひび割れることあり	70~90	透明	食器、容器、パナール
スチロール樹脂 (AS樹脂)	スチロール樹脂に似ているが厚手い紫がかった。アルコールに注意	80~100	半透明	ボトル、容器
アクリル樹脂 (アクリル樹脂)	無色透明でつやがある。ベンジン、シンナーに劣る	70~110	透明	皿、コップ
ポリカーボネート	無色または黄味がかった透明。酸に強いがアルコールによわい	120~130	透明	カメラ、レンズ
フェニール樹脂	強度、耐酸、耐熱、耐水性にすぐれ、塗り物に似ている。燃えにくい。	150	透明	金瓶、バケツ
ユリア樹脂	無色で着色自由。フェニール樹脂に類似。耐水性やよわい。燃えにくい。	90	透明	食器
メラミン樹脂	ユリア樹脂に似ているが強く耐水性よい。陶器に似たつやあり。	120	透明	金瓶、食器
アクリル樹脂	100% アクリル樹脂成形品はない。不透明でわりにつやがある。	120~130	半透明	絵皿、コップ

上の表と製品についているステッカーの表示と見くらべて使用目的にあった品をおとめください。

これは、昭和三十二年五色旗でスペイン船(当時のスペイン船に登録されていたもので、県の重要文化財)が発掘されたことからみてもうなすけます。

わたくしたちの祖先は、わが国貿易の先駆者として大海を乗り回したのと思えます。

この偉大な歴史と祖先をもつわたくしたちは、もう少し大きな希望をもちたいと思えます。

このように歴史的にも天然の良港と無限の宝庫をもつ海、このとびらをたたくことによって、大きく発展するものと思えますね。

司会 美しい海岸線が東町にもあるのですが海岸線を生かした観光を考えていかなくてはならないと思えますが。

阿久根市長 余暇の増加、所得水準の上昇などによって観光需要がふえるにつれて、本地域の豊かな観光資源は、ますます価値が高まっていくと思えます。

今後は他産業と調和させながら自然保護や人文資源の保存、環境整備などを行なって、観光開発をすすめていかなくてはならない。

まず北緯地域における阿久根、東西長島、旧出水地区と牛深本土を結んだ自然条件を利用した大規模レクリエーション地帯を形成し、基幹交通網の整備と主要

観光地を結ぶ観光ルートを築いていかなくてはならない。

観光客の受け入れ体制は、観光客が快適な観光を楽しめるように宿泊、休憩施設を整備し、サービスの向上をはかっていかなくてはならないですね。

ことし五月、オープン予定の三百人収容できる、国民宿舎建設も順調にすすみ、宿泊施設も充実できると期待していると聞いています。

二十一世紀は海を征服した国が一番伸びるといわれています。幸

いにして日本は海に恵まれているこの海を生かした海洋性観光、たとえば海中公園とか、自然の海岸線を生かした観光開発づくりもすすめていかなくてはいいけないと思えます。

阿久根は歴史的にみても古く、西欧にもその名が知られ、四百年前欧州でつくられた日本地図には日本では阿久根の地名がただ一つ記載されていたそうです。

このことは、このほど西欧を見聞した金丸知事をはじめ、鹿児島市長ら十四、五人が、オーストラリアのシドニー市長から当時の地図をみせてもらい、日本では阿久根が「かすね」と記されていることがはつきりしています。

当時阿久根では、江戸、大阪、新潟などの諸港はもちろん、神

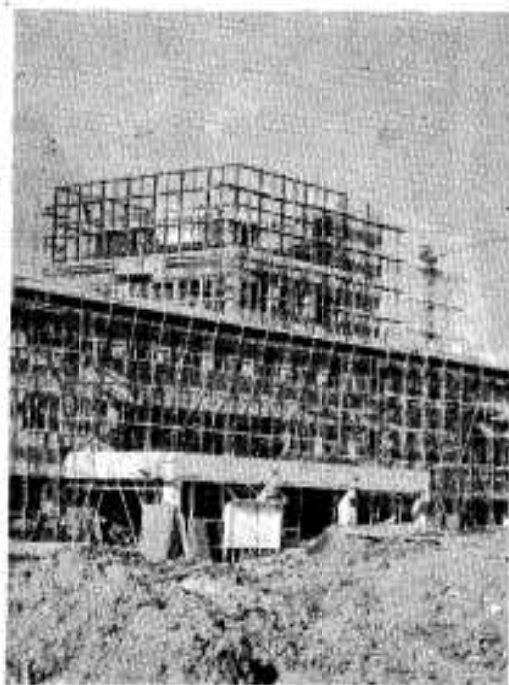
を通じて、南方西欧とも取り引きし、織物、香料、医薬品がそのおもなものでした。

とくに、九州中の衆は一手に引き受け、阿久根の船が大阪に入る、大阪の物産に影響させたそうです。

西欧との交通も古く、鹿児島にフランススコザビエルが来る以前に、阿久根の赤瀬川にはポルトガル人が妻をめぐって住んでいた事実もあります。

みのがせない海洋開発

自然を生かした大型レジャー施設も



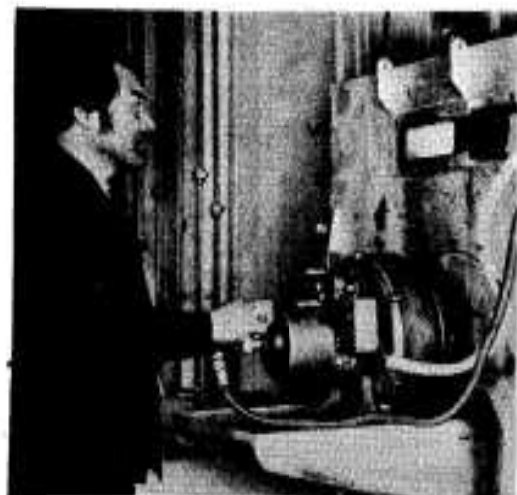
国民宿舎建設も5月オープンをめざして急ピッチ

広域合併が必要

東町長 まず本草とフェリーで結ぶ、それからしし島が本年一周道路二十三キロ開通します。ドライブコースもできますし、それと本土とフェリーで結ぶことも考えていかなければならない問題で着々その準備をすすめているわけですが、町内、町外広域にわたるルートを形成し、そしてその後の具体的な事業といえますのは、これをやらなくてはならないことは、これをやるべきかと考えておられます。

といいますのが何か拠点的なもの、あるいは目玉商品として何を持っていたらいいかということが必要であると考えています。

ただ小さい事業でありますけれども、海の幸を生かしたもので、それだけしかわたくしのところはとれません。遊漁所的なものをやろうと考えています。



1日8時間56トンのじん芥処理能力をもつ最新式設備の北薩広域じん芥処理場(丸内)このほか高尾町にはし尿処理場もできています。



東町長

さきほど阿久根市長、長島町長がおっしゃったように、こんど行政の発展はやはり、広域的にやらなくてはならないということですが、一致したようなわけですが、其の発展というものは、団体、行政企業などにおいても一番基本的なものは規模の適正だと思っております。

それで市町村においても行政の適正な規模がたいせつでありま

す。そうでなくても現在広域行政圏というものもありますし、両市町がおっしゃいましたが、今後、つねに話し合いをもち、連帯感を深める。それよりもわたくしは、町村合併ですね、これをもって規模拡大をやり、あるいは適正規模に持っていったらどうであろうか。

このへんをまだ研究していませんのでどのへんが適正規模かというところは問題であります。旧出水郡を一つにするか、あるいは少なくとも二つに、たとえば阿久根と一緒にしていただいて、そうしてやるべきじゃないかと考えています。

ずっと前町村合併法ができた時点で、長島町との合併に努力したわけですが、それが成立しなかつたわけですが、その時を過ぎたのが、時代の流れで必ずなると思っていたわけでありましたが、いざんとして現在のままです。話し合いをするとか連帯感を深めるといふことはけっこうなことですが、できりば、阿久根市と両町を合併していただいて、いろいろな問題解決が一番いいことだと思っております。

長島町長 わたくしが、阿久根市長にお願いですが、東西長島が良くなるも悪くなるも、阿久根市の発展、出水市の発展に関連性がある。阿久根市が発展すると、わたくしどもも発展するんだという見方をもっています。

広域的な問題では三番意見は一致しているんですけども、やはり阿久根がこうあって、東西長島はこの方向に、両町独自の計画はありますが、やはり大きな面でも設計されるべきであると思っております。

さきほど海洋の問題ができていますけども、東町のしし島付近から

十五日は「成人の日」です。大人になったことを自覚して、みずから生きぬこうとする方々を祝い励ます国民の祝日です。ことし成人になられる方は、昭和二十八年四月二日から二十九年四月一日までに生まれた方々です。

●成人式は：市民会館ホールで午前九時受け付け開始、十時から開催します。

当日は意見発表(発表者松永正美、猿楽ひとみ)、記念樹として、キョウチクトウ、ワシントンニア(予定)、記念撮影記念品受領(社会人手帳と湯のみ)、謝辞、(代表葛由美子)

血液検査
新成人者の血液検査を、一月十日、午前十時から午後二時まで、市病舎で行ないます。検査は血液型、性病などの検査ですから、全員検査されるようおすすめます。

二十歳になったら国民年金に加入を
成人の日おめでとーうございませす。老後の生活と万一の事故に

そなえて年金制度に加入すること、二十歳になった日本国民の義務です。

わが国には、八つの公的年金制度(国民年金、厚生年金、船員保険、各種共済組合等)がありますが、なかでも国民年金と厚生年金が二大支柱となっております。

二十歳になった人で、他の公



血液検査
新成人者の血液検査を、一月十日、午前十時から午後二時まで、市病舎で行ないます。検査は血液型、性病などの検査ですから、全員検査されるようおすすめます。

二十歳になったら国民年金に加入を
成人の日おめでとーうございませす。老後の生活と万一の事故に

国民年金制度に加入その奥さん、学生以外は、すべて国民年金に加入しなければなりません。今日のおき日にすぐ、市役所国民年金係に加入手続きをしてください。

また、サラリーマンの奥さんや学生などは、希望すれば加入できます。

長島町一帯の海岸は、漁はとれる
ヨットは走らせる、また、自然の
美しさがある。ここ一帯は瀬戸内
海や錦江湾にはとてもみられない
すばらしいものがあります。

台風が来てどこにでも逃げこ
める港が多くあります。やはりそ
うしたことを生かして行くことに
なれば、我々東西長島だけでは

広域な話し合いの政治を

工場誘致で過疎に歯止め

阿久根市長 東西長島の合併問
題についてはもたにいろいろ伝
わっています、わたくしはそれ
よりも、さきいったように一千億
くらい投資できる大型企業をもっ
てきて、二十万の中核都市をつく
るべきだと思います。

それは製鉄ですよ、そうするこ
とによって下請けの関連産業もで
き就業者もふえ、過疎に歯止め
になり、出かせぎ者もなくなりま
すし地域の発展にもつながって
くると思います。

この大型企業を誘致することに
よって、川内、出水、大口までも
合併させ、文字とお中核都市を
つくっていくべきだと思います。

やはりこれらは広域的に話し合
いをすすめなければならぬ。だ
め、北薩広域圏のようなやりかた
では大きな発展は望めないと思
います。

産業の一番になるのは鉄だと思
いますね。それからレジャーに
はいろいろありますが、ゴルフも

きない問題です。
もう少し大きいスケールのもと
でそうした問題を取りあげながら
県や国を動かし、そしてこれは得
来非常に公害が出てくるわけです
から、公害の出ないそうしたこ
ろを、いわゆる海岸レジャーの一
番すばらしいものができると思
います。

その一つにあげられると思います
ね。

鉄とレジャー産業をうまくか
み合わせてすすむと地域の発展は
遅いとも考えています。

日本の歴史の流れをみても、わ
たくしはそこにあると自論してい
るわけです。

長島町長 その合併の問題です
ね、わたくしが昔の文書を持って
います。



昨年5月オープンの中核ニット

節約時代が

きました



東町と長島町は明治二十二年に
別かれ、それから明治三十七年に
は合併の問題が出ています。

合併できなかったのはその時、
日露戦争があったのでできなかった
のも原因の一つだと思います。

いままでの話しをつきつめてい
くと阿久根とも出水とも広域的な
ものができるんで、すぐに話し合

そんなことを期待しながら、こ
ういった話し合いをやっていただ
きたいと思っています。

毎月5の日は
心配ごと相談日

(社会福祉協議会)

香典返し

つぎのかがたから香典返し
がありました。ありがとうございます。

- 大尾 為義(大尾) 五千元
- 末田 ソユ(波留) 一万円
- 松元 時満(遠矢) 一万円
- 新町 シズ(新町) 二万円
- 園田 シゲミ(栄町) 二万円
- 新町 村雄(新町) 十万円
- 的場 徳夫(的場)
- 馬見新チヨ(飛松) 一万五千元
- 近瀬 紀夫(段) 五千元
- 宮沢 笑(飛松) 五千元
- 刀称 昭(高) 三千元
- 尾原 孝雄(田代) 五千元

昭和49年度がけ地近接危
険住宅移転事業の申し込
みは「2月中」に市建設
課建築係まで

「忠義公史料」の発行

県では幕末維新の薩摩藩主島津
忠義とその父久光の関係史料を網
羅した史料集を近く発行します。
価格は一部三千六百円の予定。
ご希望の方は、お早めに春苑堂
書店(鹿児島)にお申込みくださ
い。なお、県外在住の方は、城南
堂書店(東京都千代田区神田保町
一―二)へお申込みください。

蔵之元 牛深 間に架橋かトンネルを

三者一体となって関係機関に働きかけ

司会 観光についても一つあるんですが、長崎、天草西海岸の観光と産業開発、天草と長島を橋で結ぶというような考えかた。

阿久根市長 昨年十月、牛深市で開かれた、長崎、天草西海岸と長崎、阿久根、長島、鹿兒島を結ぶ路線の国道昇格の期成会と観光開発協議会が行なわれました。

これはご存知のとおり、四月開通する黒之瀬戸大橋の完成を前に鹿兒島、熊本、長崎三県の関係者が一同に集まり関係機関に働きかける体制をつくったものです。

牛深市と長島を現在フェリーで結んでいるわけですが、ここに架橋かトンネルで結んだら、産業経済はもちろん、観光の面からも大きく変わってくると思えますね。

わたくしは、昨年四月上京したさい、元厚生大臣の園田直氏と会談し長島蔵之元と牛深市を結ぶ架橋かトンネルの必要性について話し合いま

した。

現在四月開通をめざして急ピッチですすめられている黒之瀬戸大橋、すでに完成している天草五橋も、この牛深市と長島蔵之元間フェリーで結んでいるものの、年間数百万を越えるといわれる観光客の足をはばんでいるのが現状です。

また、牛深と長島蔵之元間はおそらく二千五百円の架橋かトンネルができないと有名無実に終わってしまう。

わずか三百億ぐらいでできるといわれるこの架橋かトンネルの早期実現について強く要望しています。

四国では岩手県と同じ広さになりながら、一本六千億の橋を三本一度に架け、現在進行中ですが、これらの状況からみても、たった一本の架橋かトンネルがつくれないうちはずばないと強く要請しました。

園田直元厚生大臣もこれは重要な問題であると認識、関係機関に強く働きかけ、早期実現にもっていきたいと約束もしてきています。現在鹿兒島県下における当地域の観光の位置は、西部ベルトラインと呼ばれる薩摩半島を南北に連ねる観光ラインにあります。

また、九州八字ルートの一環として、天草パールラインを訪れる観光客を牛深市から長島を経て阿久根へ、雲尾スカイライン、鹿兒島観光ベルトライン(桜島、霧島)あるいは種子、屋久、奄美の鹿児島観光地へつなぐ地点としても重要な地位でもあり、これらの状況からはんだんしても、この架橋かトンネルは、産業経済、文化の向上発展、観光開発にも大きく寄与するものと思えますので、今後関係機関に三者一体となって働きか

けることが必要ですね。

東町長 おっしゃる通りに、長島町と牛深を橋で結ぶことは、あんがい容易なところがあるんですが、それではいまの時点では夢の段階ですが、夢を実現させるためにはやりかたによっては可能性があると思っています。

長島町長 四十四年一月十六日の熊日新聞にみひらきの写真入りで出したことがあります。今後これらの問題も積極的に取り組んでいかなければいけないと思います。司会 どうも新年早々おつかれさまでした。いきつくところは大橋の完成を契機として、広域行政ですすむべきであるというようになつたようです。黒之瀬戸大橋が完成したことによって海上、陸上輸送なども北薩の中心地になっていくところをごさいます。総合的に解決していかなくてはならないと思います。



長島と本土のかけ橋黒之瀬戸フェリー



海水浴客でにぎわう阿久根大島



お知らせ

「特別土地保有税」の申告納付について

四十八年度の地方税法の改正により、土地またはその取得に対し土地の所有者または取得者に、特別土地保有税がかかることになりました。

そこでつきにかかせる土地で五千平方メートル以上の所有者および取得者は、特別土地保有税の申告納付をしなければなりません。

申告書は市役所税務課にありまして、納期限までに申告してください。

申告納付をしなければならない区分および納期限はつきのとおりです。

①一月一日において、基準面積(五千平方メートル)以上の土地を所有する者にかかる土地に対して課税された特別土地保有税はその年の五月三十一日(ただし、昭和四十四年一月一日以降取得した土地について適用する)

②一月一日前一年以内に基準面積(五千平方メートル)以上の土地を取得した者にかかる土地の取得に対して課する、特別土地保有税はその年の二月末日

ただし、昭和四十九年二月末日までに申告納付すべき特別土地保有税は、昭和四十八年七月一日以後の土地の取得について適用する
③七月一日前一年以内に基準面積

(五千平方メートル)以上の土地を取得した者にかかる土地の取得に対して課する、特別土地保有税はその年の八月三十一日

保育所の入所受付

四十九年度保育所、児童遊園児の入所申請を受け付けます。ご希望のかたは早めに、市福祉事務所にお申し込みください。

- 市立臨本保育所 百二十人
 - 大川保育所 六十人
 - 西目保育所 六十人
 - 折多保育所 六十人
 - 私立阿光保育園 百五十人
 - 蓮華保育園 百二十人
- なお、赤瀬川児童館、鶴川内児童館、尻無児童館、牛之浜児童館、黒之浜児童館、湖之浦児童館も入所を受け付けます。

〔申込期間〕
二月末日まで、二才児や三歳未満児も事情によってはお預りいたします。

なお、保育所に申し込みされる場合は、源泉徴収票を添付してください。夫婦共かせぎしているかたは、それぞれの源泉徴収票を添付してください。

児童手当の支給を受けるための手続き

四月から支給範囲の拡大で新しく該当するかたや、児童手当の額がこれまでの額よりふえるかたは、早めに市福祉事務所、三笠支所、大川出張所に請求の手続きをとってください。

手続きが四月以降になりますと四月から支給を受けることができ

なくなり、請求をした月の翌月からとなりますので、おそくとも三月までに手続きをとってください

貯金通帳と印章は別々に保管しましょう

最近貯金通帳などの盗難が増加する傾向にあります。みなさまのたいせつな貯金をお守りするためつきのことについて、ご協力ください。

- 通帳などの盗難は、「空集ねらい」や「知人によるもの」などが大半を占めています。通帳などと印章は別々に保管しましょう。
- 盗難にあつたら、直ちにもよりの郵便局にお知らせください。
- 通帳などの記号番号を控えておきましょう。届け出の手続きと、私設警戒の処理がすみやかにできます。(阿久根郵便局)

農業後継者研修施設の生徒募集について

◇農村センター青年実験農場
所在地 牧園町高千穂
中学校卒業者を対象とした普通部(農業科と生活科 二年間)と高等学校卒業者を対象とする高等部(経営科と拓殖科 一年間)とがあります。

◇園芸高等養護研修所
所在地 地蔵丸高市上福元町
園芸を主幹科目として、農業を自営しようとする者を対象に一年間、高度な専門技術と経営能力を体得させるための実践教育を行います。なお、募集人員は五十人です。

◇園芸高等養護研修所
所在地 地蔵丸高市上福元町
園芸を主幹科目として、農業を自営しようとする者を対象に一年間、高度な専門技術と経営能力を体得させるための実践教育を行います。なお、募集人員は五十人です。各施設、県庁経営技術課または、最寄りの農業改良普及所にお問合せください。

普通部 中学校を卒業した者または来年三月卒業見込みの者で十八歳以下の者
高等部 高等学校を卒業した者(来年三月卒業見込み者を含む)
または、これと同等以上の学力を有すると認められる者で年齢二十五歳以下の者
▽募集人員
普通部 農業科(男子)五十人
生活科(女子)五十人
高等部 経営科、拓殖科十人
▽願書受付期間
普通部 昭和四十九年二月七日から二月十四日正午まで(二日四日の消印有効)
高等部 昭和四十八年十二月十一日から昭和四十九年一月二十五日まで(一月二十五日消印有効)
◇畜産高等養護研修所
所在地 園分市上之段二四四〇
肉用牛を主幹科目として、農業を自営しようとする者に一年間、高度な専門技術と経営能力を体得させるための実践教育を行います。なお、募集人員は四十人です。

編集後記

「年のはじめのためしとしておわりなきよのめでたきを、松、竹たててかどごとに、祝う今日こそたのしけれ」、しかし、この歌の中にもあるように、正月を祝う気持には変わりないと思ふが、松、竹をたてて正月を祝う風習が消えつつある。

時代がそうさせるのか、ちよっぴり寂しい気がしないでもない。

ことしは「トラ」年、トラはむかしから、子を思う情が深いところから「トラの子のように」といえたいせつにすることの形容で、「子を思って千里行って千里帰る」などのいいならわしもある。

世の人間どももトラを見習うところもあると思うが、ことしも昨年を引き継ぎ石油不足できびしい年になりそう。こんなにも日本経済が石油におんぶされてきたのかと、いままさ思ひ知らされる。

ともあれ「広報」を重ねて三百二十四号、わたくしどもはただ市政と市民のかけ橋として広報づくりを苦心する毎日なのだが、

本号は、黒之瀬大橋「開通」かける期待を語る特集とした。一九七三年の夜明けに当って、こちらで自分をふりかえつてみるのも意味があるのでは。ことしも市民各位のいっそうのご協力を願ってやまない。